

令和 7 年度 年間授業計画 教科 芸術 科目 音楽 I

教科: 芸術 科目: 音楽 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

使用教科書: 音楽 I MOUSA(教育芸術社)

教科	芸術	の目標:
【知識及び技能】	表現及び鑑賞の活動を通して得た知識を応用しながら理解を深め、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。	
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。	

科目	音楽 I	の目標:
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		歌	器	創						
単元 1 曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう 【知識及び技能】 歌詞を明瞭にするための方法を理解し、実践する。 【思考力、判断力、表現力】 歌詞の内容を理解し、どのような表現が適切か考え、楽譜上の記号もふまえた演奏をする。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の意見や演奏を聞き、より良い表現ができるようにする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 正しい姿勢、発声、発音、記号 ・教材 教科書プリント等 ・一人1台端末の活用(場面) パート練習	○			○	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 正しい姿勢を作り、目的に応じた発声や発音を理解し、意識的に変えることができる。 【思考力・判断力・表現力】 自らの考えを明確に持ち、伝える表現方法を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な意見や表現方法を積極的に見聞きし、取り組むことができる。	○	○	○	12
単元 2 イタリア歌曲に挑戦しよう 【知識及び技能】 イタリア語の読み方を理解し、日本語の発音と区別する。 【思考力、判断力、表現力】 イタリア語特有のリズム感や響きを味わい、また、曲調に応じた表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 2人以上の歌唱を聴き比べ、より良い表現ができるようにする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 イタリア語の発音、読み方 ・教材 教科書プリント等 ・一人1台端末の活用(場面) 鑑賞	○			○	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 イタリア語と日本語の発音の違いを区別して恥ずかじがらずに表現しようとしている。 【思考力・判断力・表現力】 日本語の歌との違いを理解し、区別して表現を変えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 聴き比べを通じて、分析を行い、新たな発見を具体的にまとめ、なおかつそれを生かしている。	○	○	○	6
単元 3 楽典 【知識及び技能】 音楽理論の基礎を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 音楽理論の知識を曲の理解、表現へ繋げる。 【学びに向かう力、人間性等】 読譜力を強化し、積極的に演奏に取り組めるようにする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 音名、音階、創作等 ・教材 教科書プリント等 ・一人1台端末の活用(場面)	○	○			次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 年間を通して学習し、自力で楽譜を読むことができる。 【思考力・判断力・表現力】 楽譜通りに正しく読譜し、「調」を意識した表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自力で読譜しようとしている。	○	○	○	6
単元 4 日本や世界の音楽・吹奏楽・オーケストラの魅力を知ろう 【知識及び技能】 各楽器の特徴、世界の諸民族音楽を理解し、楽器の持つ美しさを味わって鑑賞する。 【思考力、判断力、表現力】 音色、リズム、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 曲想や音楽の構造との関わり、文化的・歴史的背景のかわりに関心を持ち、主体的・共同的に取り組む。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 グレゴリオ聖歌、多声音楽、各楽器の構造、特徴 ・教材 教科書プリント等 ・一人1台端末の活用(場面) 鑑賞、意見発表など	○	○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 各楽器の特徴、世界の諸民族音楽を理解し、楽器の持つ美しさを味わって鑑賞しようとしている。 【思考力・判断力・表現力】 既習言語の歌との違いを理解し、区別して表現を変えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界に視野を広げつつも、改めて日本に目を向け、自信を持てるものを見つける。	○	○	○	4

令和 **7** 年度 年間授業計画 教科 **芸術** 科目 **音楽 I**

教科: **芸術** 科目: **音楽 I** 単位数: **2** 単位

対象学年組: 第 **1** 学年

使用教科書: **音楽 I MOUSA(教育芸術社)**

教科	芸術	の目標:
【知識及び技能】	表現及び鑑賞の活動を通して得た知識を応用しながら理解を深め、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。	
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。	

科目	音楽 I	の目標:			
【知識及び技能】	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする	【思考力、判断力、表現力等】	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする	【学びに向かう力、人間性等】	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		歌	器	創						
単元 9 ミュージカルを通して他の芸術との関わりを理解しよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解し、鑑賞や演奏する。	曲想、構造、総合芸術					日本の音楽の特徴を捉えた鑑賞をしたり、背景や意味を理解しながら演奏する。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
音色、リズム、テクスチュア、構成等を知覚し、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	教科書プリント等					考えを自分の言葉でまとめることができる。				4
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)					【学びに向かう力、人間性等】				
音楽の特徴と他の芸術との関わりに関心をもち、主体的に学習活動に取り組む。	鑑賞					音楽の特徴と他の芸術との関わりに関心をもち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。				
単元 10 よく聴き合って合唱・合奏しよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
1年間の学習したことを理解し、すべて実践する。	発声、発音、記号、ハーモニー					楽譜通りに演奏し、響きに注意し、イメージを表現しようとしている。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
曲の理解を共有し、適切な表現を判断する。	教科書プリント等					考えを共有し、適切な表現方法を工夫することができる。				6
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)					【学びに向かう力、人間性等】				
集団における自己の役割を自覚するとともに、他者への思いやりももつ。	意見交換など					全員が納得できる方法を考えて行動している。				
単元 11 創作してみよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
1年間の学習してきた音楽の諸要素を盛り込んで作曲する。	音符・リズム・音色の知識					音符の知識が習得できている。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
自作することで、楽典理解・表現力の向上へ繋げる。	教科書プリント等					条件に応じたものを作ることができる。				2
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)					【学びに向かう力、人間性等】				
音楽の諸要素を通して作者の考えを理解しようとする。	創作アプリ					楽譜をきちんと読み、理解することができる。				
単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項					【知識及び技能】				
【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考力・判断力・表現力】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)					【学びに向かう力、人間性等】				